



# 公開シンポジウム

健康なら 21Step アップ事業フォローアップ研修会

テーマ：環境とからだー奈良で楽しく暮らすためのヒントー

★日時：平成 22 年 11 月 27 日（土） 14：45 ～ 16：45

★場所：奈良女子大学総合研究棟 文学系 N 棟 N202 教室

## <趣旨>

私たちは生まれおちて生命を閉じるまで、常に自らのからだときあいながら暮らしていかなければならない。世界で最も平均寿命が長いこの国では、人びとは人類史上過去にない事態に向きあうことになっているのかもしれない。文化人類学者の野村雅一氏にならい生まれてから死ぬまでのプロセスを「エイジング」と呼ぶならば、現在はエイジングの多様化、個別化が著しく進行し、いかに自分のからだときあいながら人生をまっとうするかということは老若男女を問わず非常に重要な課題となっている。このとき、自らをとりまく環境とのかかわりもまた重要となる。

人間は与えられた環境にどのように適応しているのか、また、適応する可能性があるのだろうか。この大きな問いに対して、スポーツ生理学の知見をふまえ杉田氏にご報告いただく。杉田氏は高地トレーニングなどを通して 2010 年ワールドカップ日本代表チームのコンディショニングに貢献するというかたちで、研究成果を実践に活かしていることでも知られる。平井氏には、奈良という環境で人びとはどのような身体文化を作り上げてきたのかについて、舞いやおどりをとりあげながらご紹介いただく。これらの身体文化が象徴する、奈良に暮らしてきた人びとの知恵や工夫を味わうことができるのではないだろうか。奈良市三条通にある川田真左靴工房の靴職人である川田氏には「靴」という窓からみえる風景についてお話いただく。歩き方をみると、その人の姿勢の崩れやからだの使い方がみえてくるという。中敷きを変えるだけでからだの痛みがなくなる場合もあるようだ。「靴」を通して、地球とどのようにつきあえばよいのか考えてみたい。

## ★シンポジスト

- ・杉田正明 氏（三重大学）  
「高地トレーニングとスポーツ科学－2010FIFA ワールドカップ日本代表チームをサポートして－」
- ・平井タカネ 氏（名古屋学芸大学）「奈良の舞いとおどりー地域環境と身体文化ー」
- ・川田真左 氏（川田真左靴工房）「靴の重要性ー環境とからだの接点ー」
- ・司会：関 智美 氏（奈良佐保短期大学）

◆懇親会 17：00 ～ （於：奈良女子大学 大学会館 1 階生協食堂）

【問い合わせ先】文学部人間科学科スポーツ科学 井上洋一 0742-20-3302